

「たくさんの、ありがとう」

寺奥 真緒

私のお母さんは、「介護施設」で働いています。どんな仕事をしているのか興味があった私は、お母さんに話をし、ボランティアへ行きました。

介護施設へ行くのは、初めてで、少し緊張していました。そこには、車椅子に座っている人、杖を使っている人、手足が不自由な人がいました。

私は始めに、皆さんにお茶とおしほりを配りました。すると、車椅子に座っている、おばあさんが、私の手を握って

「こんな、かわいい子が、お茶を持って来てくれてうれしい。ありがとうね」

と、とても優しい笑顔で言ってくれました。私は、本当にうれしくて、ドキドキしていた気持ち、ホッとしました。

次に、お母さんが働いている姿を見学しました。お母さんは、車椅子を押ししたり、トイレへ一人で行けない人のお手伝いをしたり、ご飯を食べるお手伝いをしたり、とても忙しそうに汗を流して、働いていました。でも、お母さんは、キラキラした笑顔で、

「大丈夫ですか？何でも言っして下さいね」

と、皆さんに声をかけていました。色々な、おじいさんや、おばあさんが、

「ありがとうね。本当に助かるよ。ありがとう」

と、手を合わせたり、困っていた顔を笑顔にして言っているのを見て、「お母さんは、とても素てきななあ。かつこいいな」と思いました。

私も、勇気を出して、色々な人に、

「困った事はないですか？大丈夫ですか？」

と声をかけました。一人のおばあさんの杖がたおれていたので、渡してあげると、

「取ってくれたんやね。届かなくて、困ってたのよ。ありがとうね」と優しい顔で言ってくれました。私は、とてもうれしい気持ちになって、

「こちらこそ、ありがとうございます」

と伝えました。

私は、こんなに、たくさんの人に「ありがとう」と言われたことはないし、何でも当たり前だと思っていて、心をこめて、「ありがとう」と伝えてないことに気が付きました。

お母さんは、仕事から帰って来て、疲れていても、ご飯を作ったり、私達のために、家の用事をしてれています。そんなお母さんに、心を込めて、

「いつも、ありがとう」

と伝えました。すると、お母さんは、

「元気でいてくれて、ありがとうございます」

と笑顔で言ってくれました。

お母さんの仕事のボランティアへ行ったことで、たくさんの「ありがとう」を聞いて、意味を知ることが出来ました。何気ない毎日や、いやな事があった時も、「ありがとう」の一言が、人を笑顔にして、優しい気持ちになることに気が付きました。心から、素てきな「ありがとう」が言える人になりたいです。